



Kaji Junior high school times

梶中学校通信

—JUMP—

飛翔



発行: 大阪府守口市立梶中学校

校長 丸山 宗久

☎06-6902-8300 📠06-6907-2657

〒570-0015 大阪府守口市梶町4-28-5



5.1(水) スポーツテスト実施

～自分の身体能力を知る～



→標記日程で、身体計測及びスポーツテストを実施致しました。毎年この時期に行われる調査ですが、特に都心部における児童生徒の体力については低下傾向にある事が各種報道等でも周知されている様に、成長期における小・中学生にとって重要な調査と言えます。身体測定と併せ、生徒自身が自己の身体能力を知る事は健康面からも有効と言えます。

【人生100年時代に備える】→「人生100年時代」が叫ばれて久しいですが、単純に現代人の寿命が延びた訳ではなく、身体能力や「食育」に代表される普段の生活習慣が、最近特に聞かれる「健康年齢」の伸長に繋がります。そのためにも自身の身体能力を適切に知る事で自身の運動能力的課題を確認し、健康への関心向上を期待します。とりわけ義務教育は「知」「徳」「体」の三位一体となる、バランスの取れた教育の展開が求められます。「体」への関心も高まる機会になればと思います。



5.16(木) 学校運営協議会総会

～今年度初の総会実施～

→標記の日程で、今年度、第1回となる梶中学校区・学校運営協議会総会が実施されました。メンバー(会員)も一一新され、新たな面々で今年度のスタートを切りました。

【基本的な体制は従前を継続】→本中学校区内3校の教育目標・学校経営方針に対して全会一致の承認を得て、今年度が真の意味でスタートした形となりました。又、本中学校区共通の課題である、基礎的な学力の定着等における課題の他、不登校をはじめとする諸課題改善の具体としての2分科会(学力部会・子ども支援部会)での地域力導入の体制については昨年度より引き続き継続して鋭意取り組んでいく方向性を確認し、一年間のスタートとしました。



5.20(月)～ニュージーランドから体験入学

～多文化を知る機会に～



→標記日程から1か月間、ニュージーランド(以下NZ)から本校に体験入学の生徒が、本校生徒と共に学校生活を送る事となりました。この体験入学は、本校生徒にとっても、多文化共生教育の観点から大変意義深いものとなります。

【日本の学校を満喫】→食事や学校文化の違いなど、心配していた点もありましたが、生徒達を見ている限り、それらは乗り越し苦勞であった様子です。すっかり梶中学校の学校生活に馴染み、入学当初から本校に居た様な、自然体で日本の学校生活を楽しくってくれています。もっと日本とNZの違いをお互いに関心を持ち合ってくれればと思います。





5.28(火) 2年：京都探訪

～班行動で古都・京都を散策する～

→標記日程で、2年生が「京都探訪」を実施しました。行程は

全て行動班単位で行われ、自主性と協調の醸成を目標に、各班にて詳細に事前学習及び打合せの上、本番に臨みました。

【雨の中でもしっかり班行動】→当日は生憎の雨天でしたが、豪雨は時間的にやり過ごせるとの判断の上、実施の決定を致しました。雨天でも観光地として国内外からの支持が高い京都の中心地であるため、実に多くの観光客でひしめき合っていました。混雑の中、一旦はぐれてしまうメンバーが出た班もありましたが、班長中心に課題を克服出来



ていた事は成果と言えます。清水寺や建仁寺、京都市動物園と、雨天の中を傘を差しての移動は不便ながらも京都を楽しめていました。避けていた豪雨が丁度帰校の時間帯にぶつかってしまいましたが、雨の京都を学年の仲間と満喫出来ました。この経験を林間学舎に活かして下さい。



5.20(月) プール給水管工事

～本格的なシーズンを前に～

→標記日程より2日間、本校プールの給水管工事が実施されました。プール給水管が校外を通っていたものを学校内シフトさせる工事で、シーズンを前に全て完了しました。

【予定通り二日間で終了】→とりわけ、「水回り」の工事は時間がかかるものですが、工事を請け負う守口市委託会社の皆様の努力のおかげを持って、予定通りにほぼ二日間で終了致しました。コロナ渦の最中はプールの使用さえ憚れた水泳指導ですが、この夏は本工事により、安心して水泳指導に臨む事が出来そうです。頑張ってください。



5.22(水) 緊急集団下校

～万が一の緊急時に備える～

→標記日程で、様々な災害時や、不審者等における生徒の安全を担保するための「緊急集団下校」を実施致しました。不測の事態に備え、個別ではなく集団で下校するには、全員を確実に保護者の元へ届ける事が目的となります。生徒も全員が危機意識を持ち、迅速に行動していました。

【登校ルートも再確認】→適切に集合が出来ていても、特に自然災害においては帰宅迄の道中において事態が急変する可能性もあります。そんな場合でも正しい登校ルートを通っていれば救出に駆けつける事が出来ます。その意味でもルート確認は重要です。熱心にルートも確認していました。



衣替えの季節に→あっという間に汗ばむ季節となり、熱中症を気にする時期へと入って参りました。部活動、とりわけ運動系のクラブにおいては、全国大会・近畿大会へと繋がる大阪府の予選を視野に、通常の練習にも一層熱が入ってきました。大きな目標を各クラブのメンバー全員で掲げ、その目標に向けて精一杯に若いエネルギーを注ぐ経験・体験は中学校ならではの風景です。より高みを目指し、持てる力を爆発させて下さい。今日もグラウンドで、体育館で、生徒達の声が響き渡ります。

